

平成23年度 社会福祉研修実施計画表（カリキュラム）

*講師予定者の所属・職名は平成23年3月31日現在

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日数	定員	研修科目	時間数	講師予定者等 (敬称略)
新任職員研修	高齢者福祉種別 新任職員研修1 平成23年 5月9日（月）～ 5月10日（火）	福祉施設従事者の職業倫理、コミュニケーションに関する講義演習を行う事により利用者へのサービスの向上を図る。	・高齢者福祉種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	150	①講義 「社会福祉従事者の職業倫理」 ②リレートーク・グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義・演習 「対人コミュニケーションを学ぶ」	2.00 2.30 5.00	山形県内講師 ・老人福祉施設長 ・専門職団体役員 等 県内施設 若手職員5名 東北福祉大学 助教 佐藤 博彦
	高齢者福祉種別 新任職員研修2 平成23年 5月23日（月）～ 5月24日（火）	福祉施設従事者の職業倫理、コミュニケーションに関する講義演習を行う事により利用者へのサービスの向上を図る。	・高齢者福祉種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	150	①講義 「社会福祉従事者の職業倫理」 ②リレートーク・グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義・演習 「対人コミュニケーションを学ぶ」	2.00 2.30 5.00	山形県内講師 ・老人福祉施設長 ・専門職団体役員 等 県内老人施設 若手職員5名 東北福祉大学 助教 佐藤 博彦
	保育所・児童福祉関係種別 新任職員研修 平成23年 5月19日（木）～ 5月20日（金）	社会人としての基本的なルールとマナーを身につけ、児童福祉従事者としての責任と役割を理解する。 子どもや保護者、職場の組織などについて理解し、保育力の向上を図る。	・保育所において勤務年数が2年未満の者 ・児童福祉関係種別施設において勤務年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	80	①講義 「児童福祉施設従事者の役割」 ②グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義 「子どもの発達とプロとしての関わり」 ④講義・実技 「心ほぐしの体あそび」	2.00 2.30 3.00 2.00	山形学園 園長 片桐 弥生 山形学園 園長 片桐 弥生 元山形大学教授 高橋 芳子 東北生活文化大学短期大学部 講師 奥山 優佳
	障がい児・者福祉関係種別 新任職員研修 平成23年 5月12日（木）～ 5月13日（金）	社会福祉に働く者としての倫理性やみずからの役割認識、更にはコミュニケーション力アップに焦点を当て、対人サービスの質を高める。	・障がい児・者福祉関係種別事業所において勤務年数が2年未満の者 ・県・市町村社会福祉相談機関の新任職員	2	60	①講義 「社会福祉従事者の役割」 ②グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」 ③講義・演習 「人間関係とコミュニケーション」	2.00 2.30 5.00	障がい者支援施設向陽園 施設長 井上 博 県内施設中堅職員等 東北コミュニケーション研究所 所長 高橋 利夫
	新任ホームヘルパー研修 平成23年 5月27日（金）	ホームヘルパーとして求められている基礎知識を学ぶ。	・現任のホームヘルパーで経験年数が2年未満の者	1	60	①講義 「介護現場から見るホームヘルパーの役割とは」 ②グループ討議 「社会福祉従事者として目指すもの」	2.00 2.30	山形県ホームヘルパ―協議会 会長 小池 千恵子 山形県ホームヘルパ―協議会

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日数	定員	研修科目	時間数	講師予定者等 (敬称略)
施設 職員 研修	社会福祉施設 ケアリーダー研修 平成23年 10月6日(木)～ 10月7日(金)	高齢者や児童、障害者の尊厳を守るためには中堅職員は何を学び、組織は何を整備すればよいのかを考えます。	・社会福祉施設(保育所を除く)において介護、援助、看護業務のリーダーとして職務を遂行している職員(平成22・21年度受講者を除く)	2	120	①講義・演習 「組織・職場におけるコンプライアンスルール」 ②講義・演習 「リーダー・中間管理職に必要なリーダーシップ～ケアの質は指導者の能力に左右される～」	4.30 5.00	宮城福祉オンブズネット 「エール」 副代表 小湊 純一 介護老人保健施設 鶴舞乃城 看介護部長 高口 光子
	高齢者介護関係 職員研修1 平成23年 6月8日(水)	県内の高齢者福祉の現状を把握するとともに、生活を支援する介護は論理性、科学的な事実、再現性のある「根拠に基づいた介護」であることを理解する。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義 「山形県の高齢者福祉の現状と課題」 ②講義・演習 「『生活する人』であることに着目した介護～生活関連図から学ぶ介護過程の展開～」	1.30 3.00	山形県健康福祉部 長寿社会課 東北文教大学 短期大学部 講師 橋本 美香
	高齢者介護関係 職員研修2 平成23年 6月17日(金)	排泄ケアマネジメントの重要性や有効性、具体的な手法について学ぶ事を目的とする。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義 「利用者に寄り添う排泄ケア」 「排尿日誌の書き方と排泄用具の使い方」	4.30	日本コンチネンス協会 皮膚・排泄ケア認定看護師 高崎 良子
	高齢者介護関係 職員研修3 平成23年 10月11日(火)	施設内において不適切な処遇はしていないのか、慣れとあきらめによる非人間的な対応はしていないのか、介護従事者としてその原因と対策について学びます。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員	1	100	①講義 「虐待とは何か？」 ②講義・演習 「施設における虐待防止の取り組み」	1.30 3.00	財団法人 東京都福祉保健財団高齢者権利擁護支援センター センター長 川端 伸子 同上
	障がい児・者施設職員 研修 平成23年 7月21日(木)～ 7月22日(金)	障がい児・者施設職員として知っておきたいこれからの障がい児・者支援と支援者のやる気と能力を引き出す方法について講義及び演習を通じて学ぶ。	・障がい児者福祉施設、障害者自立支援法の居宅介護事業所等に勤務する直接処遇職員	2	50	①講義・演習 「やる気と能力を引き出す～コーチングから学ぶ～」 ②講義・演習 「障がい児・者支援の方向性～障がい者制度改革推進会議総合福祉部会での検討状況から～」	4.30 5.00	東北コミュニケーション 研究所 所長 高橋 利夫 関西地域支援研究機構 代表 北野 誠一
	社会福祉施設栄養士・ 調理担当者研修 平成23年 9月22日(木)	咀嚼と嚥下が困難な方向けの食事について、段階に合わせた献立や調理のポイント等について学ぶことを目的とする。	・社会福祉施設(保育所を除く)に勤務する栄養士および調理担当者等	1	100	①講義 「高齢者の摂食・嚥下と食介護～おいしく食べてQOLを高める～」	4.00	特別養護老人ホーム しゃんぐりら (神奈川県) 管理栄養士 増田 邦子

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日数	定員	研修科目	時間数	講師予定者等 (敬称略)
保育 所 職 員 研 修	保育所主任保育 職員研修 平成23年 10月31日(月)～ 11月1日(火)	現在の子育てをめぐる 状況と課題を理解し、 子ども、子育て支援や 保育士の育成に活か す。 コミュニケーション力 を高める視点、人との 関わりについて学ぶ。	・保育所、児童館、 認可外保育施設 職員で主任業務 を行う者	2	100	①講義・演習 「子どもを伸ばす保育者の関 わり」 ②講義 「カリスマアテンダントから学 ぶ仕事の極意」 ③講義・演習 保小連携の取り組み	4.30 1.30 3.00	(社)発達協会 常務理事 湯汲 英史 日本レストランエンタプライズ チーフインストラクター 茂木 久美子 せいがの森保育園 園長 倉掛 秀人
	3歳未満児 保育研修 平成23年 7月1日(金)	乳幼児に多くみられる 病気やけが、アレル ギーについてと、その 対応の仕方と予防策に ついて学習する。	・保育所、児童館、 認可外保育施設職 員等	1	100	①講義 「乳幼児期の病気とその 対応」	4.00	日本赤十字社医療センター 第二小児科部長 付属乳児院院長 今田 義夫
	3歳以上児 保育研修 平成23年 6月3日(金)	3歳以上児の心身の発 達を考慮し、この時期 に必要な遊びの環境と 支援を理解する。 自然と触れ合う遊びを 通して、知力、体力、 探究心を育む保育を考 える。	・保育所、児童館、 認可外保育施設 職員	1	100	①講義 「子どもの発達と遊び」 ②実技 「わくわくどきどき自然ふれ あい遊び」	1.30 3.00	ろぜっとわーくす 代表 中山 康夫 ろぜっとわーくす 代表 中山 康夫
保育所 職員 研修	障がい児保育等 療育担当者研修 平成23年 9月14日(水)	発達障がい児を理解 し、個々のニーズを捉 えた適切な支援ができ るよう学ぶ。	・保育所、児童館、 認可外保育施設の 障がい児担当職員 ・知的障がい児施 設、同通園施設お よび児童養護施設 に勤務している職 員 ・放課後児童クラブ の障がい児担当職 員など	1	100	講義・演習 「発達障がい児の理解と 保育」	4.30	山形大学医学部看護学科 教授 横山 浩之

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日数	定員	研修科目	時間数	講師予定者等 (敬称略)
地域 活動 者 研 修	主任ホームヘルパー研修 平成23年 9月29日(木)～ 9月30日(金)	主任やサービス提供責任者としてのリーダーの役割を理解するとともに、モチベーションの高い人材を育てるにはどのように指導していったらいいのか人材育成のポイントについて学習する。	・主任ホームヘルパーまたは主任の業務を担当してる者 ・サービス提供責任者	2	100	①講義・演習 「組織リーダーの役割とやる気を引き出す人材育成方法」	9.30	社会福祉法人浴風会 ケアスクール校長 研修企画室長 服部 安子
	ホームヘルパー研修1 平成23年 7月7日(木)	対人援助技術を学び、専門職としての資質の向上を図る。	・現任のホームヘルパー	1	70	①講義・演習 「ホームヘルパーの対人援助技術」	4.30	介護支援センターさくら (仙台市) 管理責任者 零石 理枝
	ホームヘルパー研修2 平成23年 9月7日(水)	ヘルパーとしての介護技術、介護予防について学ぶことを目的とする。	・現任のホームヘルパー	1	70	①実技 「ホームヘルパーの介護技術」	4.30	老人保健施設うらら 事務長(作業療法士) 佐藤 裕邦
専門 研 修	カウンセリングゼミナールⅠ 「カウンセリングの基本を学ぶ」 平成23年 6月22日(水)～ 6月23日(木)	援助的な役割を果たす際に身につけておくと良いカウンセリングの基本的な心構えと知識・技術を学ぶことを目的とする。	・社会福祉事業従事者で、相談業務担当職員または社会福祉行政機関の相談担当職員 (平成22・21・20年度において当研修受講者を除く)	2	120	①講義・演習 「カウンセリングの基本を学ぶ」	9.30	オフィス・カウンセリング・サービス 代表 増田 泰司
	カウンセリングゼミナールⅡ 「勇気づける～課題分け・伝える～」 平成23年 11月9日(水)～ 11月10日(木)	相談援助業務に関する一定の知識・技術を持つ社会福祉従事者を対象として、勇気づける際の留意点・技法について学ぶことを目的とする。	・社会福祉事業従事者で、相談業務担当職員または社会福祉行政機関の相談担当職員で、カウンセリングゼミナールⅠ程度の知識・技術を習得している方 (注)カウンセリングゼミナールⅠ受講が必須ではありません。基本的知識・技術を有している方を対象とします。	2	120	①講義・演習 「勇気づける～課題分け・伝える～」	9.30	オフィス・カウンセリング・サービス 代表 増田 泰司

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日数	定員	研修科目	時間数	講師予定者等 (敬称略)
専 門 研 修	リハビリテーション 研修1 「個別リハビリテー ション～持っている力 を活かす～」 平成23年 6月14日(火)	持っている力と福祉用 具等を組み合わせて行 う代償としてのリハビ リを学ぶことを目的と する。	・高齢者福祉施設、 身体障がい者関係 施設、知的障がい 者関係施設におい てリハビリテー ション関連業務に 従事する者等	1	120	①講義・実技 「個別リハビリテー ション～持っている力 を活かす～」	4.00	新潟保健医療専門学校 専任教員 我妻 浩二
	リハビリテーション 研修2 「遊びリテーションを 学ぶ～みんなできる 遊びリテーション～」 平成23年 10月20日(木)	身体機能・特徴が様々 である利用者がグルー プでも取り組み、人と 人との関係づくりに効 果的な遊びリテーショ ンについて実技を交え ながら学ぶことを目的 とする。	・高齢者福祉施設、 身体障がい者関係 施設、知的障がい 者関係施設におい てリハビリテー ション関連業務に 従事する者等	1	120	①講義・実技 「遊びリテーションを学ぶ～ みんなできる遊びリテ ーション～」	5.00	生活とリハビリ研究所 研究員 下山 名月
	スーパーバイザー 養成研修 【前期】 平成23年 7月26日(火)～ 7月27日(水) 【後期】 平成23年 9月8日(木)～ 9月9日(金)	施設の間管理職的立 場にある職員が、スー パービジョンの理論を 理解するとともに管理 監督者としてのあり方 や部下指導の技術、 リーダーシップのあり 方等について学ぶこと により、機能的な職場 づくりを推進し、施設 利用者へのサービス向 上を図ることを目的と する。	・社会福祉施設の 主任相談員、主任 介護員等、施設利 用者サービスにお いて職員に対し管 理監督的立場にあ る者等。 (平成22・21年度受 講者除く)	4	60	(前期2日間) ①講義・演習 「社会福祉施設に活かすス ーパービジョン」 (後期2日間) ①講義・演習 「社会福祉施設に活かすス ーパービジョン(振り返り)」	9.30 9.30	ルーテル学院大学大学院 研究科長 福山 和女 他 FK研究グループ 同上
	職場研修 指導者研修 【前期】 平成23年 7月13日(水) 【後期】 平成23年 8月26日(金)	各施設・事業所におい て「職場研修」を企画・ 運営する職員が職場研 修の実施体制や職場研 修の企画・運営に関す る知識・技術を習得 し、研修の効果的な推 進方法について学ぶ。	・社会福祉施設職場 内研修指導者のみ (1施設1名、平成22 ・21年度の受講者 除く)	2	70	①講義・演習 「職場内研修体制の整備と研 修の効果的な推進方法」	9.30	東海大学 専任講師 阿部 正昭
	社会福祉専門講座 1-1 平成23年 8月3日(火)	記録の意義と目的につ いて理解するととも に、適切な記し方につ いて学ぶ。	・高齢者福祉施設 (通所系を除く) (1施設1名、平成22 ・21年度未受講施 設を優先する。)	1	60	①講義・演習 「社会福祉施設における記録に ついて～記録が変われば職場が 変わる～」	5.00	日本女子大学 教授 久田則夫

区分	研修名 実施時期	研修の目的	対象者	日数	定員	研修科目	時間数	講師予定者等 (敬称略)
専 門 研 修	社会福祉専門講座 1-2 平成23年 8月4日(木)	記録の意義と目的について理解するとともに、適切な記し方について学ぶ。	・障がい者福祉施設、児童施設職員等 (保育所を除く) (1施設1名、平成22・21年度未受講施設を優先する。)	1	60	①講義・演習 「社会福祉施設における記録について～記録が変われば職場が変わる～」	5.00	日本女子大学 教授 久田 則夫
	社会福祉専門講座2 平成23年 8月2日(火)	社会福祉事業を行う責任者が、社会福祉施設運営のあり方について学ぶとともに、トップの責任と役割について確認する。	・高齢者福祉施設、身体障がい者更生援護施設、知的障がい者援護施設、児童施設職員等 (保育所を除く) (1施設1名、平成22年度の受講者除く)	1	80	①講義 「社会福祉施設運営管理について～介護事故裁判例を素材に～」	4.30	東北福祉大学 准教授 菅原 好秀
	社会福祉専門講座3 平成23年 8月23日(火)	認知症の病態と予防、ケアのポイントについての専門性を高め、利用者サービスの向上を図る。	・県内社会福祉従事者等	1	250	①講義 「認知症のメカニズムを理解する」 ②講義・演習 「認知症へのケアのポイント」	4.30	東北福祉大学 教授 認知症介護研究・研修仙台センター研究・研修部長 加藤 伸司
	社会福祉専門講座4 平成23年 10月27日(木)	社会福祉施設において、職員の心の健康を保つための職場環境作りや、不調者への対応・サポート方法、職場復帰時の注意点について学ぶとともに、職場内のコミュニケーションを円滑にするための技術を身につける。	・県内社会福祉施設の管理者等	1	80	①講義・コミュニケーション実技演習 「社会福祉施設におけるメンタルヘルスについて」	4.30	東谷メンタルヘルス研究所 所長 東谷 慶昭
	社会福祉専門講座5 平成23年 10月4日(火)	職務上発生する社会福祉従事者のストレスについてどのように対応していけばよいのか、ストレスの対処方法について学習する。	・県内社会福祉従事者等	1	90	①講義・演習 「社会福祉従事者のメンタルヘルスについて」	5.00	東京学芸大学 特任准教授 菊住 彰
	社会福祉専門講座6 平成23年 11月21日(月)	摂食・嚥下の仕組みを理解し、加齢による摂食・嚥下障害への基本的な対応を学ぶことを目的とする。	・高齢者介護関係事業所における介護業務担当職員 ・障がい者福祉施設に勤務する直接処遇職員	1	120	①講義・実技 「加齢による摂食・嚥下障害とは～対応の基本を確認しよう～」	5.00	昭和大学歯学部小児 成育学教室 兼任講師 綾野 理加